



前津江

Maetsue



まちづくりの先輩に学ぶ

12月15日、前津江まちづくり会議準備会が中・上津江の住民自治組織の事務局長と意見交換会を行った。現在、前津江は住民自治組織の設立に向けて協議を重ねている。事務局長からは「できることから一歩ずつ、地域の特性に応じた取組みを進めることが大事」といった話があり、参加者は組織設立までの経緯や問題点、現在の課題などについて意見交換を行った。



食改善で、“元気人間”に！

12月11日、出野屋根付広場で「第3回菌ちゃん野菜づくり学習会」が実施された。隣接する実験畑では、9月に植えて土の中で“菌ちゃん”の力を借りてすくすく育った野菜を収穫。主催した鹿ファームの鹿野さんから今までの土作りについて、菌ちゃん先生こと吉田俊道さんからは「元気野菜の秘密と元気人間づくり」と題した講演があった。参加者は“元気人間”になるための食改善のポイントを学んだ。

中津江

Nakatsue



光で地域を元気に

11月26日、中津江村交流促進センターで、冬の夜空を彩るイルミネーションが始まった。夜の中津江を盛り上げようと取り組んだのは、地元の商工関係者で構成された「奥日田あかり」の皆さん。点灯初日は交流会も実施され、訪れた人々は振る舞われた温かいうどんなどを頬張りながら賑やかに過ごした。地域を照らすこの美しい電飾は、2月9日まで続く。



新 蕨野(しんわらびの)橋の完成に期待

12月下旬、県道栃野西大山線の改良工事に伴い建設中の新蕨野橋の見学会が、地元住民や中学生を対象に実施された。日田土木事務所の職員と現場担当者が、県内では珍しいトラス橋の特徴や作業工程を説明。参加者は、重さ7トンもの鉄骨がケーブルクレーンで慎重に運ばれる様子を見学し、工法について質問するなど地域と市街地を結ぶ橋に関心を寄せていた。



天瀬

Amagase



キラキラ輝く、イルミネーション

12月11日～1月14日、出口コミュニティセンターで、ウインターフェスタ実行委員会主催の「2022ウインターフェスタ」が開催された。イルミネーション点灯式の点灯者を務めたのは、100歳になる地元の高齢者。点灯用スイッチが押されると、キラキラと輝く光が会場一面に現れ、大きな歓声に包まれた。色とりどりのツリーの前で記念写真を撮ったり、美しい光のドームをくぐったりして楽しむ家族連れの姿が見られた。



また、サンタクロースの衣装に身を包んだハーモニカ演奏グループによる演奏会も実施。聞き馴染みのあるクリスマスソングで会場を大いに盛り上げ、観客が一緒にロザさむなど楽しい冬のひとときとなった。



みんなで門松作り 楽しい1年に

12月23日、塚田会館で塚田老人会のメンバー約30人が新年に向けて門松を制作した。門松作りには、「輪が大事、チームワークが大事」と話すメンバーの皆さん。その言葉どおり、「枝が長すぎる」「これで良くなった」と声を掛け合い、和気あいあいと門松を作り上げていた。立派な門松が完成したあと、お楽しみの団子汁をみんなで食べると、笑顔があふれた。



待ちに待った、クリスマス音楽祭

12月17日、塚田コミュニティセンターホールで開催された、つかだ星空ふれあい活動実行委員会主催のクリスマス音楽祭。ハンドベルをはじめ、ハーモニカやオカリナなど素敵な音色で奏でられる曲に乗せて、一緒に歌う人の姿も見られた。会場にはサンタクロースも登場し、一足早いクリスマスプレゼントに子供たちは大喜び。この日を楽しみにしていた人も多く、終始、楽しい時間が流れていた。